

# 翔

百万石蝶談会 No. 148

February 2001

2000年の輪島市におけるアサギマダラマーキングと観察記録

石川県関係アサギマダラ再捕獲情報

2000年アサギマダラ日記



## 2000年の輪島市におけるアサギマダラ —マーキングと観察記録—

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗

### ■マーキング

2000年は全国的にアサギマダラが大量発生したことによるものか、あるいはマーキングについてのマスコミの報道が華やかだったためか、各地での再捕獲が例年になく多かったようである。石川県輪島市での筆者らのそれも例外ではなく、マーキングを始めた昨年の総数は117頭であったが、本年はそのほぼ9倍にもなる1047頭について行うことができた。しかも再捕獲が去年は0件であったにもかかわらず、本年は石川県内で4件、県外で3件と計7件を数えることができた。輪島市のマーキング地点は鉢伏山（543m）、高洲山（567m）、宝立山（468m）にほぼ限定され、その中でも鉢伏山でのマーキング数が全体の95%以上を占めるように圧倒的に多い。

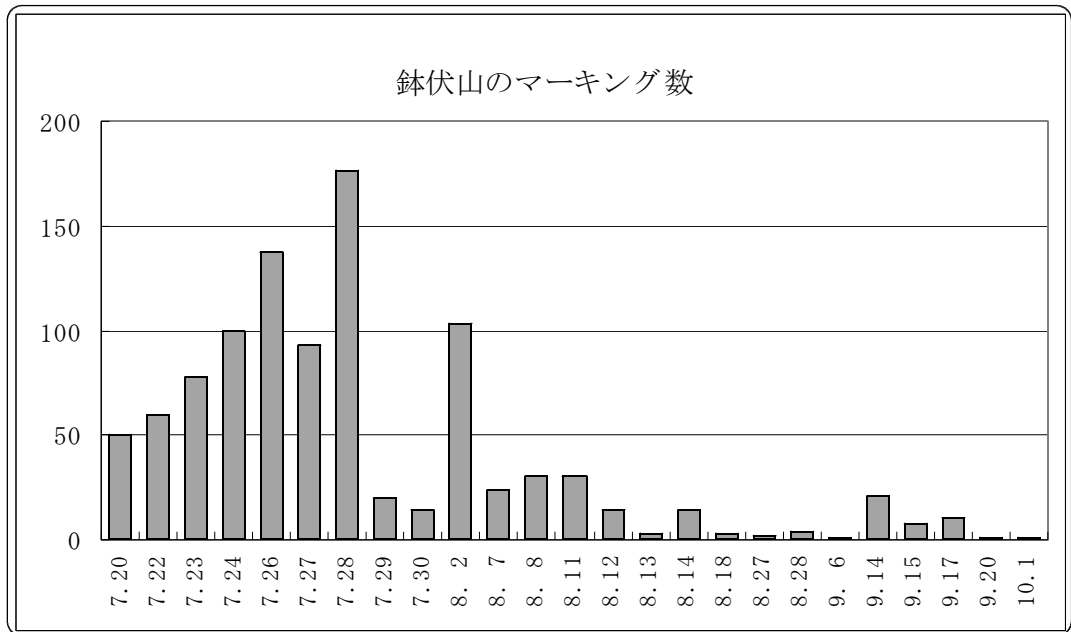


輪島市でのマーキング数

	鉢伏山	高洲山	宝立山	気勝山	計
♂♀別数	686♂313♀	8♂ 15♀	12♂ 12♀	1♂ 0♀	707♂340♀
総数	999	23	24	1	1047
比率	95.4%	2.2%	2.3%	0.1%	100%

鉢伏山のマーキング箇所は、頂上をとりまくブナ林からなだらかに下る北側斜面の造林地が主で、鉢伏山と高洲山を結ぶ林道高鉢線の鉢伏山側出口も含まれる。時期的には7月下旬から8月上旬にかけてが個体数のピークである。7月16、17日の両日にこの地を訪れたときは1頭のアサギマダラも見ることができなかった。ところが20日、突然わき出たかのごとく大量の個体があらわれ、ヨツバヒヨドリとリョウブの花に群がっていた。その状態はほぼ1週間続き、その後やや減少の傾向が見られたものの、8月2日にまた大量の個体があらわれた。しかし残念なことに8月3～6日は筆者らのうち2人が出張のため不在となり、その間の様子は不明である。その後15日頃まで数はずっと減少したもののその姿を見ることができた。時間的には7～10時が最も多く吸蜜にあらわれるようであり、その

後、温度が上昇するとともに造林地での数は減り、涼しい林内に移るようである。しかし暑さがやわらいでくる16～18時に再び造林地に姿をあらわし吸蜜する。マーキング時の温度は筆者らの首から下げた温度計によったが、7月下旬はおよそ午前は24～26℃、午後は28～30℃、8月上旬以降は23～25℃で、マーキング中はほぼ一定でせいぜい±1℃であった。ただ首から下げていたので、体温の影響があるかどうかはわからない。天気はカンカン照りよりは曇天の方が良さそうである。鉢伏山のこの地点は例年、7月末日までに下草が刈られてしまい、それ以降のアサギマダラ数は激減するのであるが、本年は造林地の植栽木がある程度成長したためか、それが行われなかったことが幸いした。



2000年の再捕獲記録 (標識場所は輪島市鉢伏山)

標識日	標識者	再捕獲日	再捕獲場所	再捕獲者	移動距離
7月22日	日吉芳朗	9月 3日	石川県羽咋郡押水町宝達山	松井正人	70km
7月23日	日吉芳朗	7月29日	輪島市宝立山	松井正人	20km
7月24日	日吉芳朗	9月10日	京都府宇治田原町鷲峰山	長谷川政興	300km
7月28日	日吉宏朗	10月28日	鹿児島県喜界島百之台	佐藤 廣	1200km
8月 8日	日吉宏朗	8月16日	輪島市宝立山	日吉芳朗	20km
8月 8日	日吉宏朗	8月29日	輪島市宝立山	日吉芳朗	20km
8月 8日	日吉宏朗	9月 9日	群馬県利根郡片品村大清水	堀口 徹	220km

高洲山では、かつてアサギマダラの乱舞が見られた頂上のブナ林には、ほとんどその姿を見ることはできなかった。しかし、頂上より約200m離れた輪島市無線中継所のまわりのリョウブの花で、吸蜜している個体がかかり見られた。

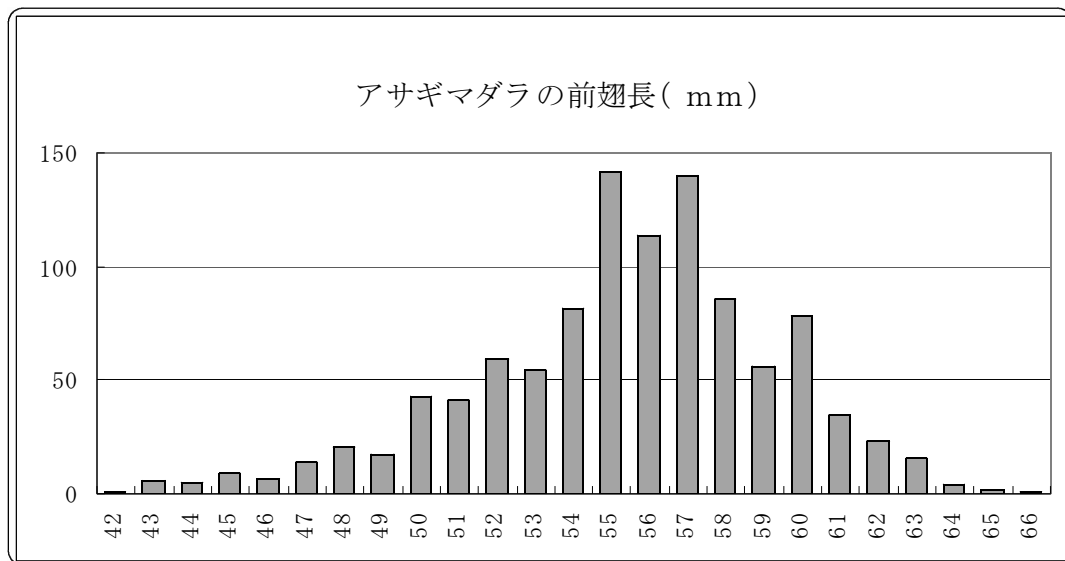
宝立山は頂上付近の三叉路より吉ヶ町へ向かう林道ぞいとその途中から右手に入る祠下の谷間にいくらか見られただけであった。

7件の再捕獲記録からおぼろげながら推察されることは、移動には2方向があるのではないかということである。また鉢伏山と宝立山とを行き来していることも考えられる。

■観察記録

本年のアサギマダラの初見は、5月30日の鉢伏山での1頭で、終見は10月1日の同じく鉢伏山での1頭である。その間、6月12日に輪島市深見町納見の海岸で日吉南賀子が1頭を目撃したが、このような低地での記録は珍しく、舳倉島への移動の途中かと想像したくもなる。

マーキング個体と採集個体の合計は1058頭であったが、その中で前翅長最大のものは66mm（♀）、最小のものは42mm（♂）であった。



アサギマダラは鳥に襲われることはほとんどないと思っていたが、8月11日、鉢伏山で採集した1♀は、左前後翅の半分以上が鋭く切り取られ、鳥に攻撃されたように思われた。

7月28日、鉢伏山でマーキング中の日吉宏朗が、1♀（前翅長61mm）の右後翅中室に径3mmのポンチであけたようなきれいな穴があいているのに気づき採集した。虫眼鏡で見るとややゆがんだ円であることや切り口がなめらかなことから、人工的なものではなく発生過程の中での何らかの作用によるものと考えている。

《参考文献》

日吉芳朗（2000）輪島市におけるアサギマダラの今昔．翔（142）：1-3.

《ひよし よしろう・ながこ・あつろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

## 2000年アサギマダラ日記

松井正人

2000年の日記から、石川県内で行ったアサギマダラ調査について、報告する。

■ 5月27日（くもり後雨） オオカモメヅルは茎だけ

白峰村白峰と尾口村一里野で、食草のオオカモメヅルを観察。まだ芽を出しているものは少なく、長いもので50cm程に伸びているが、茎だけで葉は開いていない。

■ 6月3日（雨） オオカモメヅルやっと展開

一里野で、オオカモメヅル18株を調べるが、卵は無し。オオカモメヅルは、まだ小さく、1株で4枚程度の葉しか調べられない。

■ 6月10日（くもり） 白山山麓で初マーキング

白峰村百合谷（びゃっこだに）の林道脇でアサギマダラを発見し、今年初のマーキング。既交尾の♀であった。放蝶後、目の前のイケマに気付いて調べると、20卵と初齢幼虫1頭を観察。葉の枚数は全部で36枚、1葉に4卵生まれていたりして、卵はベタベタ状態。マーキングした♀は、産卵中だったのかも知れない。ここは大きな岩壁の下で、谷が大きくカーブし下流が広く見渡せる。アサギマダラが真つすぐ谷を上って来たら、ここに来るのかもしれない。周辺でイケマ1カ所、オオカモメヅル4カ所を調べるが、卵、幼虫とも観察できなかった。成虫1頭に白タオルを回したが、反応しなかった。

調査を続けている一里野では、オオカモメヅルから7卵、イケマから3卵を観察する。尾添川対岸の吉野谷村中宮では、卵は観察できなかったが、成虫1頭を目撃する。そろそろ白山山麓も賑やかになってきた。

2000年6月10日	石川郡白峰村百合谷	1♀マーキング1頭20卵1幼目撃	松井正人
2000年6月10日	石川郡尾口村一里野	10卵目撃	松井正人
2000年6月10日	石川郡吉野谷村中宮	1頭目撃	松井正人

■ 7月1日（晴） 石動山で産卵を観察

樹高30m程のヒノキの林、下層の林は高さ2m程で所々にオオカモメヅルが伸びている。この林の中で、アサギマダラの産卵を観察した。1卵産んだ後、次の葉を探すが、なかなか見付からない。直ぐ近くにあるのに、違う葉に2度止まりなおした後は、休憩に入ったのか、高さ2m程の木の葉に止まって動かなくなった。

2000年7月1日 鹿島郡鹿島町石動山 2♂1♀5卵目撃 松井正人

■ 7月2日（晴） 梅雨の切れ間に白山中心部調査

今年初の白山中心部調査、期待に胸ふくらませていたが、林道の草刈りが行われたらしく、イケマが無い。標高1240m付近の林内で、ようやくイケマから1卵を観察する。時期なのか、全山でエゾハルゼミが鳴いていた。

2000年7月2日 石川郡白峰村白山釈迦林道 1卵目撃 松井正人

■ 7月9日（晴） 白山山麓で前蛹を観察

卵がたくさん付いていた百合谷のイケマを始め、一里野、尾口村ハライ谷ではオオカモメヅルから前蛹を観察した。前蛹は、食べ尽くされほとんど葉柄だけになった食草の根際に残された葉の裏や、隣接する食草とは違う葉の裏に見られた。いずれも主脈に台座（シルクボタン）を作り、茎側に背を向け「J」の字になっていた。

2000年7月9日 石川郡白峰村百合谷 2前蛹目撃 松井正人

2000年7月9日 石川郡尾口村一里野 3前蛹目撃 松井正人

2000年7月9日 石川郡尾口村ハライ谷 1前蛹目撃 松井正人

■ 7月16日（くもり） 鉢伏山ポイントに草刈りせまる

そろそろ輪島市鉢伏山にアサギマダラの大集団が現れる頃と思い、調査に出かけた。あっと驚いたのは、例年になく草刈りが進んでいる事で、マーキングポイントとなる日陰のヨツバヒヨドリを残し、他は全て刈られていた。大集団はまだの様で、出現までにヨツバヒヨドリが刈られてしまわないかと心配になる。山で出会った日吉芳朗さん一家も、同様に心配していた。

2000年7月16日 輪島市鉢伏山 3頭目撃 松井正人

■ 7月20日（晴） 鉢伏山に大集団出現

あっと驚いた。たった4日しか経っていないのに、アサギマダラの大集団がそこにいる。こんなにたくさんのアサギマダラを見たことがない。新鮮な個体が次から次へと飛んでくる。前へ進めず、同じ場所から動けない。マーキングしている横をすり抜けるように飛んでいく。気が付くと、8時間ほとんどぶっ通しでマーキングしていた。網を振っていた手は痛く、昼食はみんな残ってしまった。400頭を越すマーキングをしたのに、再捕獲は終盤になっての数頭で、正に次から次へと湧いてくるようだった。

出会えなかったが、日吉さん一家もマーキングに来ていたらしい。帰路、日吉さん宅に伺うと、近所に住む同好の石畑正夫さんが、鉢伏山の草刈りを遅らせてくれるようにと、どこかに頼みに行ってくれたらしいと話してくれた。

2000年7月20日 輪島市鉢伏山 184♂229♀ 1頭マーキング 松井正人

■ 7月22日（晴） 宝達山にアサギマダラがない

鉢伏山には大集団。それでは押水町宝達山（ほうだつさん）はどうかと、調査に出かける。ところが、いない。宝達山周辺には、アサギマダラはいないのか、それとももっと良い場所があるのだろうか。

2000年7月22日 羽咋郡押水町宝達山 2♂1♀マーキング 松井正人

■ 7月23日（晴） 鉢伏山でマーキング

20日よりは少なくなった。ピークを過ぎたのか。暑すぎるのか。午前中は日吉さん一家もやってきてマーキング。日吉さん一家は、無理をせず、毎日コツコツ通っているらしい。

今日は午後1時位になるとアサギマダラはほとんどいなくなった。暑くて林内に逃げ込んだものと思って林内に入ると、突然足元から飛び立ってビックリする。あっちこっちにたくさん止まっているようだが、暗い林内で羽ばたかずに止まっているので、どこに止まっているのか分からない。歩き回ると飛び立つが、滑る斜面では思うようにネットも振れず、白タオルに反応しないものもいる。足場が悪く蒸し暑いので、やはりヨツバヒヨドリでマーキングするのが一番かと思われる。4時になると、再びヨツバヒヨドリにアサギマダラが戻ってきた。秋のマーキングは4時までしかできないが、夏のマーキングはいつまでできるのだろうか。

2000年7月23日 輪島市鉢伏山 178♂57♀マーキング 松井正人

■ 7月29日（晴） 鉢伏山からの移動個体を再捕獲

夏のマーキングは、午前中が勝負と8時スタートを目差すが、8時18分スタートとなる。草木は露でびしょり濡れていて、ネットを濡らさないように採集するが、ズボンは直ぐにずぶ濡れとなる。ネットも濡れてきたので、交換にと陽当たりに出ると、すこぶる暑い。ちょっと干すだけで直ぐ乾き、2組で何度か交換する。林縁を行き来するうち、オオカモメヅルが林から顔を出しているのに気が付き、2卵を観察する。12時から午後4時までは、アサギマダラは林に入るので、鉢伏山でのマーキングは12時でお終い。

輪島市宝立山（ほうりゅうざん）は、少ないながらアサギマダラに会える場所。午後4時半から探し始め、数本のヨツバヒヨドリで数頭を発見する。採集すると1頭にマークがあり、「ムムム」っと見れば、「石ひよし117」と書かれている。日吉芳朗さんが鉢伏山から飛ばしたもので、氏にとっては初の再捕獲記録であり、能登半島で初めて東への移動が確認された記録でもある。宝立山での再捕獲を書き込んで放蝶する。

2000年7月29日 輪島市鉢伏山 131♂31♀マーキング 2卵目撃 松井正人

2000年7月29日 輪島市宝立山 4♂3♀マーキング 松井正人

■ 8月12日（くもり後晴） 白山釈迦岳でマーキング

1500m付近でマーキング。新鮮な個体が多く、♀は全て未交尾だった。今まで日陰を作ってくれていた大きなブナの木が倒れていて、最も条件の良いヨツバヒヨドリは陽当たりになり、アサギマダラはいなかった。夏のマーキングは、くもりの方が涼しくて良い。

2000年8月12日 石川郡白峰村白山釈迦岳 53♂52♀マーキング 松井正人

■ 8月26日（晴後くもり） 白山釈迦岳でマーキング

今日は、12日の場所にアサギマダラはいず、1600m付近で良い場所を見つけた。アサギマダラはとにかく日陰のヨツバヒヨドリが好きなので、沢沿いであれば沢に沿って下りてきて、花から花へと飛びまわり、無心に吸蜜する。

2000年8月26日 石川郡白峰村白山釈迦岳 119♂16♀マーキング 松井正人

■ 9月3日（晴） 鉢伏山の南下個体を再捕獲

今日から突然涼しくなった。宝達山の頂上は19℃の涼しさで、11時半になって20℃になる。アサギマダラには寒すぎるのか、ほとんど飛ばない。暗かったり寒かったりすると、アサギマダラは枝先に良く止まる。それも枯枝が多い。羽をピタリと閉じ、枯枝に止まっていると、下から見上げると、どこに止まっているのか分からなくなる。アサギマダラがなぜ枯枝に止まるのかは分からないが、とにかく細い枯枝が好きなので、足場の良いネットの届く範囲に大きな枯枝を数本立ててみたが、止まってくれたのは1頭だけ。枯枝のある場所が、重要なのもかもしれない。

12時42分、「石ひよし087」を再捕獲した。日吉芳朗さんが7月22日に鉢伏山から飛ばした個体で、そろそろ南下を始めたのだろうか。宝達山での再捕獲を書き込み放蝶する。

2000年9月3日 羽咋郡押水町宝達山 15♂10♀マーキング 松井正人

■ 9月15日（晴） 宝達山のマーキングは絶好調

すがすがしい秋晴れで、気温は24℃から25℃と最高の条件に恵まれた。マーキングは9時スタートで午後4時半終了。新鮮な個体が少なく、スレた個体が多かった。帰り際、葉が散ってしまったミズキに交尾ペアが止まっているのを観察する。地表からの高さはほぼ10mで、雌雄どちらも枝につかまっていた。

2000年9月15日 羽咋郡押水町宝達山 170♂23♀マーキング 松井正人

■ 9月16日（くもり・大風） 宝達山はフェーン現象

マーキングをやってみたいと言う金田外茂之さんが参加。9時集合に8時半から待っていてやる気は十分。ところが台風が接近中で風が強く、気温が高い。アサギマダラもほとんど飛ばず、飛ばせて採集していたが、10時頃にはブナ林にアサギマダラはいなくなった。金田外茂之さんは、午前中で山を下りたが、あきらめきれずあちこちと斜面を上り下りしていると、午後2時頃に輪島の日吉芳朗さんがやってきた。輪島周辺では新成虫が発生したので、宝達山の様子を見に来たらしい。

この日は、輪島沖を通過した台風によるフェーン現象で、宝達山頂上で12時半に28℃を記録し、輪島は35℃を記録したらしい。

2000年9月16日 羽咋郡押水町宝達山 35♂28♀マーキング 松井正人

2000年9月16日 羽咋郡押水町宝達山 7♂3♀マーキング 金田外茂之

■ 9月24日（雨） 双眼鏡で観察

前日からの激しい雨、今日になっても降り続けているが、12時頃にはあがった。急いで宝達山に向かうが、途中からは再び大雨。せっかくだからと頂上まで登ってみると、スッポリと雲の中。雨は降っていないが、ブナ林の中はポタポタと雨粒が落ち、ちょっとでも風が吹くと、ザーと雨粒が落ちてくる。気温は17℃。双眼鏡で葉が散ってしまった枝先を眺めると、ミズキやウワミズザクラの枝先に6頭を見つけた。

2000年9月24日 羽咋郡押水町宝達山 2♂4♀目撃 松井正人



■ 9月28日（くもり） 宝達山で寒さに震える

今年の宝達山は天候に恵まれない。今日こそはとやって来たが、9時の気温は13℃。しぶとく待っていたら11時には雨が降りだした。雨が上がった頃、前年マーキングに初挑戦した河崎悦子さんもやって来たが、気温はやっと15℃になったところ。寒いブナ林で双眼鏡片手にアサギマダラを探していると、葉が散ったミズキの枝先に1♀が止まっていた。その後1♀が飛んできて、同じ枝に同じ向きで止まった。眺めていると、この2♀の奥で1頭が羽ばたいた。こちらの目線と平行に止まっていたので気付かなかったが、ヤマブドウのツルに1頭止まっていた。上着無しの15℃は寒くてたまらず、午後3時には引き上げたが、河崎さんを付き合わせてしまい、悪いことをしてしまった。

2000年9月28日 羽咋郡押水町宝達山 1♂2♀1頭目撃 松井正人

■ 9月29日 和歌山県から再捕獲の知らせ

asagiメーリングリストを開くと、再捕獲の知らせが入っていた。7月23日に輪島の鉢伏山で放蝶したものが、9月27日に津野修一さんによって再捕獲され、28日に藤井 恒さんによって発信されたものだった。28日は宝達山へ行っていて開いていず1日遅れてしまったが、情報の速さに驚くものがある。再捕獲していただいた津野修一さん、メールを発信していただいた藤井 恒さんに、改めてお礼を言いたい。

■ 9月30日（くもり） 富士山の個体が宝達山に飛来

今日の気温は17℃。10時32分になって初マーキング。11時頃から小雨が降り出し、降ったり止んだり。移動の終わりのようで、3～4頭の集団が3回飛来し、この中に「8/31フジ山」マークの個体が含まれていた。午後1時半には、本降りとなりマーキングは終了。

「8/31 フジ山」は、8月31日に山梨県富士吉田市で橋本定雄さんが放蝶したことが、藤井 恒さんに調べてもらって分かった。藤井さん、いつもありがとうございます。

2000年9月30日 羽咋郡押水町宝達山 6♂2♀マーキング1♀採集 松井正人

■ 10月1日（晴） 宝達山で最後のマーキング

今日の気温も17℃。アサギマダラはなかなか現れず、あてもなく白タオルを回していると、何処からともなく1♂が飛んできた。この個体に皮切りに次々と個体が現れ、一挙に7頭をマークした後は、ピタリといなくなった。7頭の集団が飛来したような感じだった。

2000年9月30日 羽咋郡押水町宝達山 9♂2♀マーキング 松井正人

■ 10月7日（快晴） 最後の1頭は海岸で

風があり、宝達山頂上のパラボラアンテナがヒューヒュー鳴いていた。12時になってやっと気温は17℃になったが、アサギマダラは全く観察できない。山を降り、海岸で別の調査をしていると、クロマツの植林地にヒヨドリバナやフジバカマが咲いていて、ヒヨドリバナで吸蜜している新鮮な1♂を発見した。

2000年10月7日 羽咋郡富来町前浜 1♂マーキング 松井正人

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 石川県関係アサギマダラ再捕獲情報

### ■1998年

- 9月26日 石川県羽咋郡押水町宝達山、松井正人放蝶 ♂
- 10月25日 鹿児島県種子島西之表市古田、鏑 孝一再捕獲、移動距離は29日で約850km

### ■1999年

- 7月23日 石川県輪島市鉢伏山、松井正人放蝶 ♂
- 10月12日 神奈川県秦野市ヤビツ峠、藤沢圭三写真撮影、移動距離は81日で約300km
- 9月28日 石川県羽咋郡押水町宝達山、松井正人放蝶 ♂
- 10月20日 大阪府富田林市梅の里、脇坂豊子再捕獲、移動距離は22日で約270km
- 9月28日 石川県羽咋郡押水町宝達山、松井正人放蝶 ♂
- 10月21日 三重県南牟婁郡御浜町立札峠、多田弘一再捕獲、移動距離は23日で約330km

### ■2000年

- 7月22日 石川県輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 ♂
- 9月3日 石川県羽咋郡押水町宝達山、松井正人再捕獲  
移動距離は43日で約70km
- 7月23日 石川県輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 ♂
- 7月29日 石川県輪島市宝立山、松井正人再捕獲  
移動距離は6日で約20km



石川県からの移動9例と石川県への移動1例を示す

- 7月23日 石川県輪島市鉢伏山、松井正人放蝶 ♂
- 9月27日 和歌山県日高郡日高町西山、津野修一再捕獲  
移動距離は66日で約420km
- 7月24日 石川県輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 ♂
- 9月10日 京都府綴喜郡宇治田原町鷲峰山、長谷川政興再捕獲  
移動距離は48日で約300km
- 7月28日 石川県輪島市鉢伏山、日吉宏朗放蝶 ♂
- 10月28日 鹿児島県喜界島百之台、佐藤 廣再捕獲、移動距離は92日で約1200km
- 7月29日 石川県輪島市鉢伏山、松井正人放蝶 ♂
- 10月9日 沖縄県宮古島平良市間那津、下地英嗣再捕獲、移動距離は72日で約1780km
- 8月8日 石川県輪島市鉢伏山、日吉宏朗放蝶 ♂
- 8月16日 石川県輪島市宝立山、日吉芳朗再捕獲、移動距離は8日で約20km
- 8月8日 石川県輪島市鉢伏山、日吉宏朗放蝶 ♂
- 8月29日 石川県輪島市宝立山、日吉芳朗再捕獲、移動距離は21日で約20km
- 8月8日 石川県輪島市鉢伏山、日吉宏朗放蝶 ♂
- 9月9日 群馬県利根郡片品村大清水、堀口 徹再捕獲、移動距離は32日で約220km
- 8月31日 山梨県富士吉田市滝沢林道、橋本定雄放蝶 ♀
- 9月30日 石川県羽咋郡押水町宝達山、松井正人再捕獲、移動距離は30日で約270km

移動距離の測定は2点間の最短距離とし、地球を球と考えて求めたもので、測定は、藤井 恒氏にお願いした。

## 私のパパは左利き

### 五 萌 みどり

私だってネットを振るし、蝶だってつまめる。三角紙に包むこともできるが、いつだってパパといっしょ。たまにパパが虫のお友達と出かける時に、パパにくっついて行く事だってあるが、その時はパパだけの時とちょっと違う気がした。

ある時、パパが近くにいなかったのでも、一緒に行ったお兄さんのネットを振っていたら、お兄さんが「あの蝶を採るとパパが喜ぶぞ」と言ったので、何とか採集し、三角紙をもらって包んだことがあったが、その時もアレっ？と何かいつもと違うように感じた。

私が採った蝶をパパが展翅するのを横から見ていたら、開いた三角紙が並んでいて、ひとつだけ仲間外れなのに気が付いた。手にとって折り直してみると、折り方が違う。パパに聞くと、右利きの人と左利きの方は折り方が違うと教えてくれた。パパは左利きで、普通の人とは折り方が反対だとも教えてくれた。

パパの虫仲間と一緒に出かけるときに感じていた、いつもと違う感じは三角紙のせいだったのかなあ。

## 2000年度収支報告

会計年度は1月1日から12月31日

収 入		支 出	
項 目	金額 (円)	項 目	金額 (円)
2000年度会費	74,000	会誌作成費	110,800
当該年度以外会費	12,000	例会費	16,000
会誌売上金	0	博物館を作る会費	3,000
郵送負担金	14,000	郵送費	36,500
前年度繰越金	32,644	消耗品費	5,463
次年度繰入金	39,119		
計	171,763	計	171,763

※ 年会費は2,000円、郵送負担金は500円

2000年度会計は4万円近い赤字を出した。原因は年会費の未納入で、2000年度分だけでも、6万円(会費+郵送負担金)を越えている。20世紀をこのような形で終えたくはなかったが、事務局にいたらなさがあったと考えている。各会員の納入状況は、会誌を郵送した宛名シールに書き込まれているので、確認してほしい。

入っているが、エスやワイも歳だけに慢性化が心配。くれぐれも養生してほしい。

### 輪島でゼフィルスの採卵会

輪島の日吉氏、鉢伏山周辺で家族採卵。エゾ、ジョウザン、オオミドリといろいろ狙い、ミドリシジミが手中に収まった。

### 医王山周辺で未記録種騒動

それは、三上氏の採卵から始まった。かねてより噂があった医王山の富山県側で、石川県未記録種が採れた。十二月例会でこの話がでるや、もはや時間の問題と、松井氏は、翌々日から医王山に入った。ところが採れない。調査範囲は徐々に拡大されたが、結局採れなかった。

### スチール製縦置型標本タンス

マイホーム新築に取りかかった指田氏、新居にスチール製品は似合わない、スチール製の標本ダンスのもらい手を探している。

### 最後のツマガロヒヨウモン

十二月に入ると鶴来辺りは霜が降りてガチンガチン。ところが九日の小春日和には、ツマガロが舞った。これが今年の見納めだろうか。

### ザイツのCDROM

指田氏、ザイツ等のスキヤン画像が入ったCDROMを持っていて。色もきれいとかで、二月例会にはパソコン持参で、見せてくれるとか。

### ナガサキ・ムラサキ・クロコノマ

このところ関東は南方系の蝶で賑やかだが、北陸にはいつこうにやってこない。唯一ツマガロヒヨウモンだけは、関東と時同じくして入ってきたが、クロコノマだって、来ても良いと思うのだが。

### 激務もそろそろ年明け

激務も残すところ後三ヶ月。新世紀を迎え、水生昆虫再開も眼前に迫り、胸躍らせる西原氏であった。

### 夜に出歩く不審人物

澤田氏、年末はマレーシア観光。バードサンクチュアリに隣接するホテルに滞在し、日中はプールサイドでのんびりしていたらしいが、夜ともなると行動は一変。燈火に飛来する虫を求めて、ホテル内をあちこちこつちとうろつき、通りすがりのボーイやメイドからは、怪しい目を向けられた。

### 正月は対馬でカブリモドキ

中西、細沼の崖崩し隊、年末から年始にかけ、対馬でカブリモドキを採集。出発時は、五島へ行くと言っていたのに、どうなってるの。

### カエルキンバエの公開手配書

石川県には、環境庁レッドデータ種のハエが四種記録されているのを知っているだろうか。その中の情報不足種にランクされたカエルキンバエは、かつて河北潟から金沢市大野にかけて普通に見られた

らしいが、最近是全国的に記録がない。そこで徳本氏は、大捜査網を敷くべく、見分け方や活動時期の解説書を作成し、「はなあぶ」に掲載した。手配書希望は、事務局まで。

### 例会の記録

十二月七日(木)城南管工一階にて八時から開催。今後の会場は、一階となった。今年一年を振り返り、春は遅かったもののゼフが豊産し、ムラサキシジミの観察が相次いだ、アサギマダラも大集団が観察されたが、ツマガロヒヨウモンの広がりは無かった、などの話題があがった。

### その他の話題では、小矢部

川のヒサマツミドリ、山中町のフジミドリ、宝達山のウラクロシジミ、五島のモンローマイマイ、意外と手軽な腰痛バンド、新居は年内に完成、地鎮祭は終わったなどなど。

### 参加は、竹谷、富沢、井村、

中西、松井、細沼、三上、吉村、指田、山岸の十人。

【表紙デザイン…小幡英典】

# 会員の動き・しゃべりの動き

アドレスが消えちゃった

ハードディスクがクラッシュした富沢氏、データは全てフロッピーの中と安心そのもの。新品同様のハードディスクを装着し、メールを発信しようとしてはたと気が付いた。アドレスが分からない。お気に入りのホームページも分からない。漢字変換もおかしい。使うに連れ、だんだん分かってきた。こりゃ大変だ。

スプリング式捕虫網が重い

スプリング式の直径五〇センチを長年使っていたが、昔の四二センチを使ってみると妙に軽い。柄も繰り出し式から一本竿にしたところ、更に軽くなった。これを一ヶ月ほど使っていたら、五〇センチが重くてたまらない。これって慣れ、それとも体力の・・・。

あなたのウン〇僕に下さい

オオセンチにはまったテイー氏、トラップ材料に凝りだした。やはり人間産が最高で、中でも中華ものがグーとか。研究熱心な氏は、男女間の違いも調べようとカミさんに頼んだが断られ、しかたなく職場で頼んだらしいが、結果については語れない。

ババジヨウカイを探せ

石川の希少種の写真撮影を請け負った富沢氏、ババジヨウカイを探して金沢大学へ。ところが、種名ラベルが無い標本がズラリと並び、見た目はどれも一緒。標本作成者の高田君はインドネシア。何度かメールのやりとりの末、見付け出したらしいが、写真に違いがでるのだろうか。

西表島のゲンゴ池に龍神出現

富沢氏、西表の池でのんびりゲンゴロウをすくっている時、突然水面が波立ち、大音響とともに足元が大きく揺れだした。たゞごとではないと、慌てふためいて池から上がろうとするが足が動かない。ゾワゾワと悪寒が走り、やつとの思いで池から這い出ると、池は平穏そのもの。気がつけば、長靴が脱げ全身ずぶぬれ。採集をあきらめ宿に帰ると、地震があったとわかった。

能登半島に裏三家を求めて

今年はずつが豊産と、採卵調査にいそしむ松井氏だが、調査はもっぱら能登半島。目当てはウラキン、ウラゴマ、ウラクロシジミで、木に登らなくて済むので楽だとか。

腰痛三人衆(エスエムワイ)

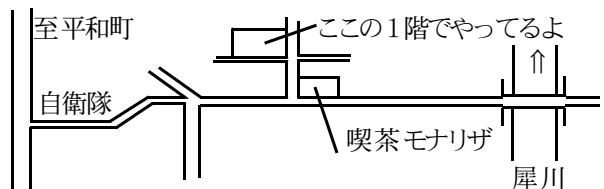
冬は腰痛の季節。寒くなる腰がうずいてくる。バンドやカイロは離せず、お風呂が恋しい。エムの腰痛は年が

## 翔 148号

Tobu 2001年2月1日発行  
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (148号)

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗：

2000年の輪島市におけるアサギマダラ -マーキングと観察記録-	1
松井正人：2000年アサギマダラ日記	4
編集部：石川県関係アサギマダラ再捕獲情報	9
五萌みどり：私のパパは左利き	10
編集部：会員の動き・しゃばの動き	12